

# 中小製缶業者とM&A

著：株式会社東都製缶 横川達也

## ◇はじめに

昨今流行り(?)のM&A。随分と身近になり、当業界内でもちらほらと増えてきた今日この頃。事業拡大だけでなく、後継者問題解消の手法として、一般的になってきました。実際にM&Aにて当業界に入ったうちの一人として、M&Aについて少しお話をさせていただければと思います。

## ◇いまさら聞けないM&A略語集

現在の主流はやはり仲介業者や銀行の紹介等によるマッチングでしょうか。相対取引はレアケース。その他プレイヤーとしては土業、国や地方自治体が運営する事業引継ぎ支援センターなどがあります。さて、M&Aを進めるとよく出てくる略語についての解説です。M&A仲介業者や銀行員は賢いフリをするのが大好きなので、「え、当然わかりますよね?笑」的な雰囲気を出しながら、下記略語を共通言語のように使ってきます。でも大丈夫、ここで覚えて逆に使うことで、相手をひるませて交渉を優位に進めましょう!(なお、仲介業者からの「具体的なお相手があります!」というDMは99%嘘です)

- ・NN:ノンネームシートの略称。売り案件について、特定されないよう名前を伏せた状態のまま、地域・業種・売上・利益などの概要を記載したA4ペラ1資料です。1次判断材料として買い手企業に提示されます。
- ・NDA:Non-Disclosure Agreementの略で、秘密保持契約書のこと。M&Aに関する情報をやり取りするために、主にM&A仲介業者との間で締結します。
- ・NC:ネームクリアの略称。上記NNで興味を持ち、NDAを締結している場合、対象会社のより詳しい情報開示を求めていきますが、仲介業者が売り手に対し、情報提供してよいか確認する作業をさします。
- ・IM:Information Memorandumの略。仲介業者等によって呼び名は異なりますが、いわゆる「企業概要書」のことです。対象企業の事業概要や財務データ、希望条件等が記載されています。
- ・LOI:Letter of Intentの略で、「意向表明書」のこと。上記IMをもとにQ&Aを進め解像度を上げ、トップ面談を経たのちに先方に渡す、いわばラブレターのようなものです。
- ・DD:Due Diligenceの略。デューデリジェンスとかデューデリとか呼ばれる、買収監査のことをさします。結婚前の身辺調査のようなものですね。土業等を入れて財務・法務・労務・事業面を幅広く調査します。
- ・SPA:Stock Purchase Agreementの略で、日本語では「株式譲渡契約書」になります。株式価格から退職金や引継ぎ条件、その他懸念事項まで多岐にわたり、2~30ページになることも。
- ・PMI:Post Merger Integrationの略で、M&A成立後の統合プロセスをさします。

## ◇中小製缶業の生き残るすべは?

略語集で紙面の大半を使ってしまいました(すみません)本題に入ります。右図は中小製缶業を中心として上流下流のプレイヤーを私なりに書き出したものです。現在缶屋はまさに激動の時代を迎えておりますが、そんな中生き残っていくにはどうするか。一つの選択肢としてM&Aは”アリ”だと思います。製缶業はやはり規模がものをいう業種だと思います。単純な規模の拡大に加え、経営資源の選択と集中、管理部門の統一や購買集約によるコスト削減等、上手くいけばシナジーを享受できるでしょう。今後さらに横同士だけでなく、異業種からの参入や、上流・下流・周辺、果ては顧客も絡んでの再編が増えるかもしれません。その際、自社はどのポジションをとるか。独立独歩を貫くのか、どこかと手を取り合うのか。守るのか、攻めるのか。缶という素晴らしい包材を後世に残すために、缶屋単体だけではなくサプライチェーン全体として考えていかねばならないのかもしれません。

